※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | ２１６ |
|---|---|

# 令和５年度　国語科

| 教科 | 国語科 | 科目 | 言語文化 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「言語文化」　（大修館書店） | | | | | | |
| 副教材等 | 「九訂版　読解をたいせつにする　体系古典文法」（数研出版）「三訂版　読解をたいせつにする　体系古典文法学習ノート」（数研出版） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な文章について「読む能力」を向上させるとともに、意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身につけましょう。
・授業を通して日本の言語文化の伝統と意義を学び、理解を深めましょう。
・安易に「答え」を求めるのではなく、自らの考え・意見を筋道立てて表現し、回答を導き出した上で、考え足りなかった部分、表現しきれなかったことを振り返りましょう。
・ノートは要点を記録し、知らなかった情報をメモし、考えを整理するために不可欠のツールです。黒板を写すためのものではありません。自ら工夫し、活用してください。
・定期考査の前には教科書の本文を再度熟読し、自分自身で設問を想定しながら読み解いてみてください。
・提出物の期限は必ず守りましょう。

## ２　学習の到達目標

（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能の習得と、それらを活用して、思考力・判断力・表現力を身につけることができる。
（２）言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することをめざす。
（３）上代から近現代に受け継がれてきた日本の言語文化に対し、主体的に理解を深めることができる。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特徴を理解し適切に使っている。 | 「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | 言葉を通じて積極的に他者と関わり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。 |

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 古文の世界に分け入って、言語文化への関心をもつ<br>［教材］<br>古文入門 | a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解している。<br>b［　読　］：作品内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。<br>c：進んで文語のきまりについて理解し、自分のものの見方を深め、学習課題にそって作品の内容について批評しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査<br>ノート | ワークシート |
| | 「随筆」に描かれた筆者の心情を読み取る<br>［教材］<br>随筆 | a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>b［　読　］：文章展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。<br>c：進んで作品の文化的背景を理解し、文章に表れているものの見方を捉えて内容を解釈し、学習課題にそって作品の内容について討論しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート |
| | 「物語」の設定を理解し、登場人物のおかれた状況や心情を読み取る<br>［教材］<br>物語 | a：古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。<br>b［　読　］：<br>c：文章の種類を踏まえて内容や展開について的確に捉え、学習課題にそって古典から受け継がれてきた題材について発表しようとしている。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート |
| 2学期 | 「和歌」の特徴や技法について<br>［教材］<br>和歌 | a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。<br>b［読　］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。<br>c：我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解し、ほかの作品などとの関係を踏まえて内容の解釈を深め、学習課題にそって詩歌の表現技法についてまとめようとしている。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査<br>ノート | ワークシート |
| | 漢文の世界に分け入って、言語<br>［教材］<br>漢文の基本構造と訓読 | a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。<br>b［　読　］：作品の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて的確に捉えている。<br>c：我が国の文化と外国の文化との関係について理解し、表現技法などについて調べようとしている。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査<br>ノート | ワークシート |
| | 「漢詩」に描かれた情景や心情を読み取る | a：文語の決まりや訓読のきまり、特有の表現などについて理解している。 | ワークシート | ワークシート | ワークシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | ［教材］<br>漢詩 | b[　読　]:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。<br>c:言葉には文化の創造を支える働きがあることを進んで理解し、作品に表現されているものの感じ方を積極的に捉えて内容を解釈し、学習課題にそって作品を比較して論じようとしている。 | 定期考査<br>小テスト | 定期考査<br>ノート | |
| | 小説とその典拠となった説話を読み比べ、小説の読みを深める。<br>［教材］<br>小説 | a:常用漢字の読みに慣れ、我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。<br>b[　読　]:作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。<br>c:文章の意味は文脈の中で形成されることを進んで理解し、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて粘り強くとらえ、学習課題にそって異なる時代に成立した小説を比較し論じようとしている。 | ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | ワークシート<br>定期考査<br>ノート | ワークシート |
| 3学期 | 形式を理解し、詩ならびに近代短歌や俳句の展開を把握する。<br>［教材］<br>詩<br>短歌<br>俳句を詠む | a:時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。<br>b[　書　]:自分の体験や思いを効果的に伝わるよう、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。<br>c:進んで語感を磨き語彙を豊かにし、今までの学習を生かして俳句を作ろうとしている。 | 観察<br>ワークシート<br>定期考査<br>小テスト | 観察<br>ワークシート<br>定期考査<br>ノート | 観察<br>ワークシート |

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　５　）時間

・読むこと　…　（　６５　）時間